

第6学年（合同） 体育科学習指導案

令和3年6月22日（火）

授業者 T1 平田辰弥

T2 長谷川美加子

1 単元名 Syusyo High JUMP 2021 ～目指せ！チーム新記録～ （陸上運動）

2 授業づくりの構想

（1）運動の持つ特性

陸上運動は、相手と競争したり、記録に挑戦したりするところに楽しさや喜びがある運動である。特に走り高跳びは、短い助走から調子よく片足で踏み切り、より高くとぶことに挑戦する運動である。

この運動は、助走、踏み切り、空中、着地の4局面に分けることができる。助走では、踏み切り前の準備局面をリズムカルに速く走ること、踏み切りでは決められた踏み切り位置でなめらかに鋭く跳び上がること、空中では抜き足を横に大きく開くこと、着地では振り上げ足から順に安全に着地をすることが大切である。

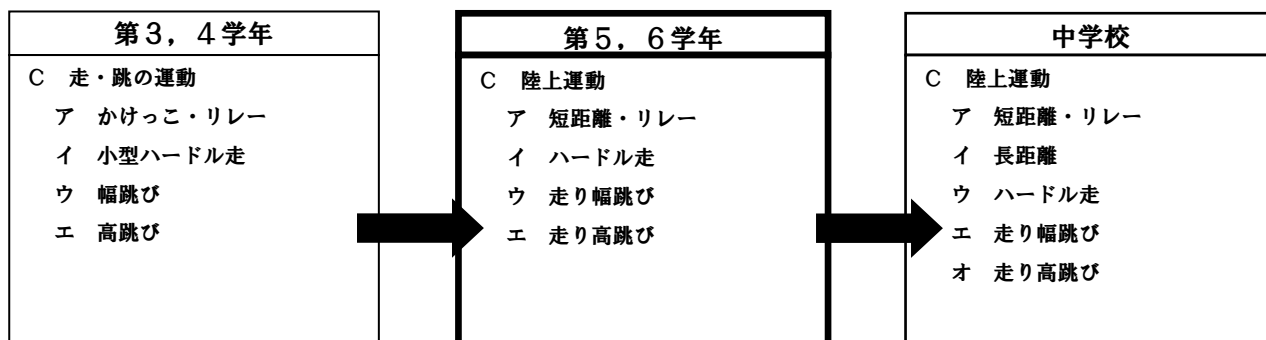
目標の達成を目指す中で、友だちと協力することの大切さや友だちのよさに気付くことができる。また、自己の動きを調節する力や力強さを高めることができる運動である。

（2）児童の実態

本学年の児童（男23名、女33名、計56名）は、体を動かすことが好きな児童が多く、意欲的に体育学習に取り組んでいる。しかし、前年度の体育アンケートでは、「どちらかといえばきらい」「きらい」という児童が21.8%もいて、運動の技能や経験に差があり、二極化が見られる。また、同アンケートでは、「くりかえし練習する」、「運動のコツやポイントがわかるようになる」、「先生や友達に認めて（ほめて）もらえる」、「めあてに向けて練習（運動）の仕方を選ぶ」で楽しかったという児童が少なかった。

とぶ運動については、走り幅跳びの学習の際に、「トトトーン」のリズムで踏み切る事を学び、進んで実践しようとする姿が見られた。また、コツをつかむ事で、より遠くへ跳び、記録を伸ばしていく楽しさを感じることができていた。しかし、学習したコツを体で習得しにくい児童も見られ、仲間との関わりの中で、コツを取得したり、活動を楽しんだりできる様にしていくことが大切である。

（3）運動（学習内容）の系統性



（4）単元の目標

【知識及び技能】

走り高跳びの行い方を理解するとともに、その動きを身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(5) 学びへの働きかけ（指導の意図）

1 単元構成 「チームジャンプにより他者と関わることを意味を持たせる」

児童をつなぐ支援として、3～4人グループを作り、チームで個々の課題を解決できるように協力して取り組んでいく。グループ分けは事前の陸上記録会の記録を参考にし、技能面で上手な児童と低位な児童が混合となるようにする。目標記録については、モノグラムを用いて【110+（身長÷2）－（50÷走のタイム×10）】として設定し、目標記録との差によって得点を導き出す。単元の最後には、チームごとに得点を競うこと、全員の得点の平均が6点を超える（全員が目標記録を超えた場合の平均点）ことを目指す事を目標とする。グループの力を合わせて、全員で目標に向かっていく事ができるようにしたい。そして、1人1人が自己の役割を果たしながら、お互いを高め合える学習にしたい。

2 ICT 機器の活用 「タブレットの活用」

クロムブックを活用し、良い動きの確認をすることができるようにする。教師の動きを撮影しておくことで、何度も動きを確認しながら課題解決に向かうことができるようにする。また、自分の動きを確認しながら、アドバイスがもらえるようにする。友達からのアドバイスを自分の動きと比べながら確認することで、自分の課題をより正確に捉えることができるようにする。タブレットは、1跳場に1台ずつ置いておき、必要なときに友達に撮影してもらうようにする。

3 教具の工夫 「活動の時間を確保と安全への配慮（恐怖心の軽減）」

毎時間の練習の場では、グループごとに簡易の支柱を準備していく。バーの代わりにゴム紐を使用する。ゴム紐の両端は洗濯ばさみで支柱に取り付けるようにし、児童が跳び越える際にゴム紐に引っかかっても簡単に支柱から外れるようにし、支柱転倒による事故防止を図る。また、バーへの恐怖心から思い切って跳ぶことができない児童も居ることから、ゴムにすることによって恐怖心を和らげることができると思われる。

4 言語活動 「振り返りボードを用いた高め合い活動」

本時の活動の後に「ふりかえりボード」を利用して、自分の今の楽しさ（気持ちよさ）やできばえ（ポイント）を振り返る。特に、自己評価の低かった児童の話をチームで聞き合い、それをよくするための練習内容を考えて取り組むことで、個々やチームの力を伸ばしたい。また、ペアの班を設定し、ゴムを持ち合ったり、友達の技能に応じて高さを変えたりする中で、ペアの班で気付いたことを適宜伝え合い、さらに向上していく機会をつくる。

5 児童の問いと教師の問いかけ

どうすれば高くに跳べるのかという中心的な課題に迫るために、4つの局面があることを提示した上で、予想・仮説を立て、それらを検証するような問題解決的な学習を行うことができるようにする。また、児童が課題を解決するために、類似の動きを提示し、経験する中で「どうして跳べるようになったのか」というような意図的な問いかけの工夫も行う。

(6) 単元の流れ及び評価の計画

関わり	高学年	具体的な活動・姿
する	・試技の回数やバーの高さの決め方などのルールを決めて競争したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶ。（知識及び技能エ） ・自己やグループの能力に適した課題を見付け、課題に応じた練習の場や段階を選ぶ。（思考力、判断力、表現力等ア） ・自己の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選ぶ。（思考力、判断力、表現力等イ） ・走り幅跳びや走り高跳びに積極的に取り組む。（学びに向かう力、人間性等ア）	・バスケットゴールジャンプ ・5歩助走 ・ダブルゴム跳び ・X ゴム跳び ・段違いゴム跳び ・踏切板跳び ・踏切ゾーン、着地ゾーンの間 ・グループで教え合い、進んで活動する。
みる	・自己や仲間の動きの変化や伸びを見付ける。（思考力、判断力、表現力等ウ）	・タブレットを活用して自分や友達の動きを確認する。 ・振り返りボードを使って楽しさと出来栄を共有しあったり助言しあったりする。

支える	・考えたことを他者に伝える。(思考力, 判断力, 表現力等ウ) ・用具の準備や片付け, 計測や記録などで, 分担された役割を果たす。(学びに向かう力, 人間性等ウ) ・課題を見付けたり, その解決方法を工夫したりする際に, 仲間の考えや取組を認める。(学びに向かう力, 人間性等オ) ・走り高跳びの場を整備するとともに, 用具の安全に気を配る。(学びに向かう力, 人間性等力)	・振り返りの時間に, 動きのポイントや友達の動きのよさを伝え合う。 ・計測や記録をグループで役割分担をして行う。 ・グループの友達のアドバイスや場の選び方を認める。 ・場の準備を協力して行う。
知る	・走り高跳びでは, その行い方を理解する。(知識及び技能エ)	・ひざを曲げて安全な着地を行う。 ・リズムカルな助走から力強く踏み切る。 ・振り上げ足を高く上げ, 抜き足を大きく回す。

(7) 単元の流れ及び評価の計画

		1	2	3	4（本時）	5	6
主なねらい		学習の進め方を理解しよう。	リズムカルな助走から力強く踏み切って、走り高跳びをしよう。			自己の課題にあった方法で練習し、自己記録に挑戦する。	
核となる学習内容		・学習のねらいと進め方 ・問いづくり	リズムカルな助走	力強い踏み切り	高い足の振り上げ	自己の課題に適した解決方法の選択 自己記録への挑戦	
学習活動		・オリエンテーション ・準備の仕方、安全な活動の仕方（安全な着地） ・試しの跳び	<ウォーミングアップ> バスケットゴールジャンプラン ハイキック				
			活動① 高く跳ぶコツをつかもう！			チームごとに課題に合わせた練習を行う。 目標記録 チャレンジ	チームハイジャンプ 記録会 目指せチームベスト記録！
			助走	踏切	空中		
			5歩、7歩でリズムよく助走しよう。	振り上げ足を意識して力強く踏み切ろう。 目標記録 チャレンジ	抜き足を大きく回して跳び越えよう。 目標記録 チャレンジ		
			活動② 「自分の目標記録にチャレンジし、記録を伸ばそう！」				
			振り返り				
評価の計画	知	④（観察）	②（観察）	②（観察）	③（観察・ICT）		①（振り返り）
	思		②（観察）		②（観察）	①（観察）	
	態	③（観察）		③（観察）		①（観察）	②（観察）

具体的な評価基準	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	①走り高跳びの行い方を言ったり、書いたりしている。 ②リズムカルな助走から、足を高く振り上げて、力強く踏み切ることができる。 ③空中で抜き足を大きく回して跳ぶことができる。 ④ひさを曲げた安全な着地をすることができる。	①「リズムカルな助走，力強い踏み切り，足の振り上げ」いう3つの課題に応じて自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 ②友だちのよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友だちに伝えている。	①積極的に高跳びの活動に取り組もうとしている。 ②約束を守り，助け合あって運動しようとしている。 ③用具の準備や片付けなど安全に気を付けている。